

ウォシュレット® 一体形便器ZJ1・ZJ2 CES9133型・CES9143型

washLÉT®

工事店様へ

- 取扱説明書最終ページの保証書に必要事項を記入のうえ、必ずお客様にお渡しください。
- ウォシュレットの機能、使いかたについてお客様に説明してください。新築などお客様に引き渡すまでに時間があるときは、電源プラグを抜いておいてください。
- 自治体によって洗浄水量の規制がある場合、下記手順で大洗浄6L（小洗浄5L）仕様を大洗浄8L（小洗浄6L）仕様としてお使いいただけます。切替手順は「**6** ロータンクの水量調節をする」の11～13ページを参照してください。
- 連立対応について（URL）<http://buhin.toto.co.jp/>「施工方法」の覧「ウォシュレット施工方法（リモコン連立対応など）」をご覧ください。



はじめに	2
安全に関するご注意	2
取り付け前のご注意	3
同梱部品	4
各部のなまえ	4
施工手順	5

1 止水栓を取り付ける	5
2 便器を取り付ける	6
3 ウォシュレット本体を取り付ける	6
4 ケースふたを取り付ける	8
5 給水ホースを接続する	9
6 ロータンクの水量調節をする	11
7 アース線を接続する	14
8 電源プラグを接続する	14
9 リモコンを取り付ける	15

試運転	16
給水フィルターの掃除	18
凍結のおそれがあるときの処置	19

はじめに

取り付けかた

試運転他



はじめに

施工の前には必ずこの説明書をよくお読みいただき、この説明書の内容にそって正しく取り付けてください。





安全に関するご注意 安全上の警告・注意事項を必ず守ってください!

警告 誤った取り扱いをすると、「人が死亡または重傷を負う可能性が想定される」内容です。



注意 誤った取り扱いをすると、「人が傷害を負う可能性及び物的損害のみの発生が想定される」内容です。

【絵表示の例】  してはいけない「禁止」の内容です。  必ず実行していただく「強制」の内容です。

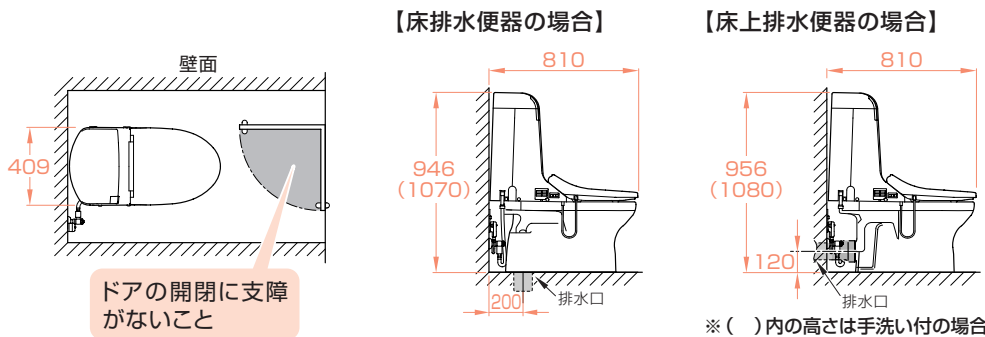
警告

	浴室など湿気の多い場所には設置しない 火災や感電の原因になります。
	指定する電源(交流100V)以外では使用しない 火災の原因になります。
	電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込みがゆるいまま使用しない 火災や感電の原因になります。
	水道水及び飲用可能な井戸水(地下水)以外は使用しない 皮膚の炎症などを起こす原因になります。
	電源プラグは根元まで確実に差し込む プラグを根元まで確実に差し込まないと火災や感電の原因になります。
	アース(D種接地)工事を確実にを行う アース工事を行わないと故障や漏電のとき、感電の原因になります。

注意

	便座・便ふたを持って製品を持ち上げない ウォシュレット本体がはずれて落下し、けがをする原因になります。
	給水ホースを折り曲げたり、つぶしたりしない 水漏れの原因になります。
	止水栓を開けたままで給水フィルター付水抜栓をはずさない 水が噴き出します。
	施工は施工説明書に従って確実にを行う 正しく取り付けないと水漏れ、感電、火災の原因になります。
	給水フィルター付水抜栓は確実に締める 確実に締めないとお水漏れの原因になります。

取り付け前のご注意



① 製品への通電及び通水は取付作業をすべて終えてから行ってください。

② ドアの開閉に支障がないことを確認してください。

③ 下表の電力に適した配線をしているか確認してください。

電源	定格消費電力	
交流100V(50/60Hz)	ZJ1	302W(水抜方式:304W、ヒータ付便器:340W)
	ZJ2	414W(水抜方式:416W、ヒータ付便器:452W)

④ 電源コードの長さは約1mです。
コンセントはこの長さに適した位置に設置しているか確認してください。

⑤ 給水圧力範囲は0.05MPa(流動圧)~0.75MPa(静水圧)です。この圧力範囲でご使用ください。

⑥ 給水温度は0~35℃です。この温度範囲でご使用ください。

⑦ 同梱以外の給水ホース、止水栓を使わないでください。

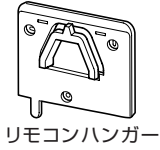
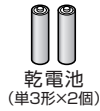
総合セット品番

C E S □ □ □ □ □ □ □

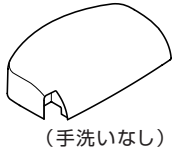
機種		便器タイプ		手洗いの有無		タンク金具+給水金具	
記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ	記号	タイプ
9133	ZJ1	なし	防露なし	なし	手洗いなし	なし	寒冷地用 + 止水栓(ヒータ付・水抜方式)
9143	ZJ2	B	防露あり	L	手洗い付	E	一般地+止水栓
		H	防露ヒータ			G	寒冷地用 + 止水栓(水抜方式)
		P	防露P排水				

同梱部品

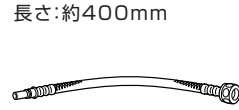
リモコン部品



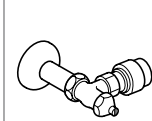
ケースふた



給水ホース



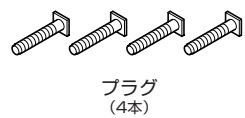
止水栓



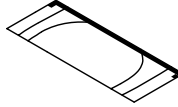
ロータンクパッキン



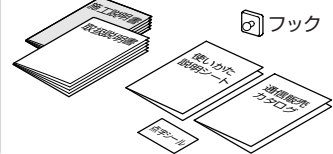
取付ボルト組品



型紙



取扱説明書、施工説明書(本書)、
使いかた説明シート、フック、
通信販売カタログ、点字シール



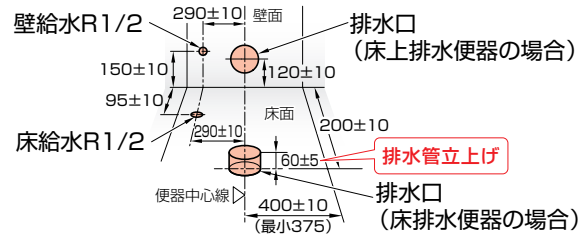
各部のなまえ



施工手順 この手順に従って施工を行ってください。

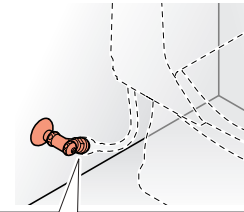
- 1 止水栓を取り付ける
- 2 便器を取り付ける
- 3 ウォシュレット本体を便器に固定する
- 4 ケースふたを取り付ける
- 5 給水ホースを接続する
- 6 ロータンクの水量調節をする
- 7 アース線を接続する
- 8 電源プラグを接続する
- 9 リモコンを取り付ける
- 試運転(作動・水漏れチェック)をする

1 止水栓を取り付ける



- ① 給水金具と排水管の位置を決める
- ※ 給水口と排水口は、ゴミなどが入らないよう、ビニールなどをかぶせておいてください。

壁給水



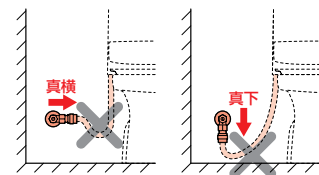
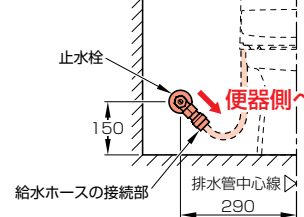
- ② 止水栓を取り付ける

取り付け前に・・・

止水栓を取り付ける前に、給水管内のごみ、砂などを完全に取除いてください。同梱の止水栓を必ず取り付けてください。

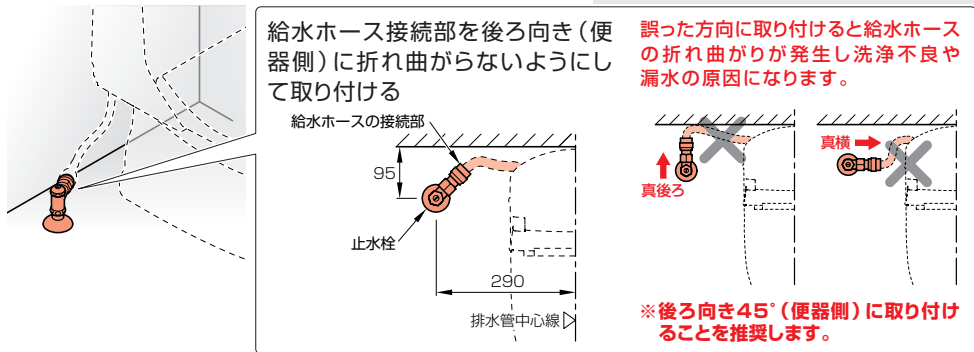
給水ホース接続部を下向き(便器側)に折れ曲がらないようにして取り付ける

誤った方向に取り付けると給水ホースの折れ曲がりが発生し洗浄不良や漏水の原因になります。



※ 下向き45°(便器側)に取り付けることを推奨します。

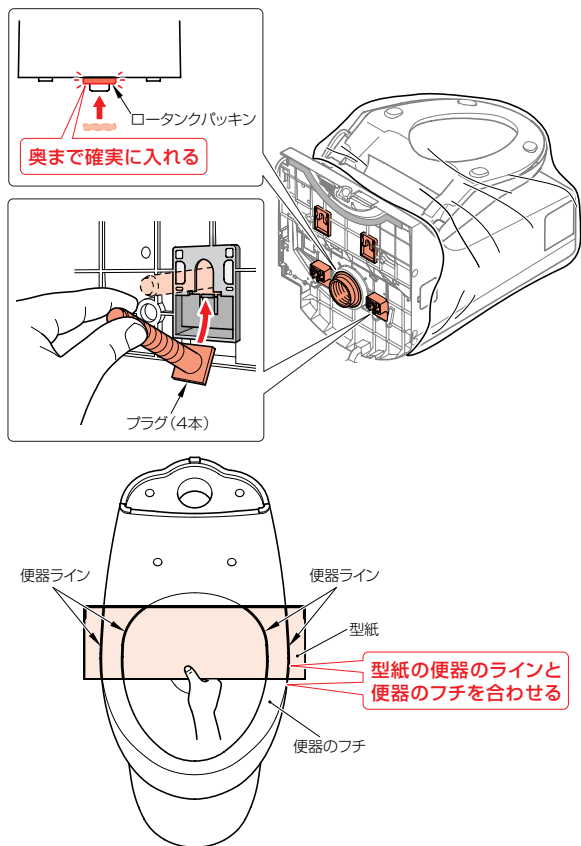
床給水



2 便器を取り付ける

便器の取り付けかたは、便器側に同梱の「便器の施工説明書」をご覧ください。

3 ウォシュレット本体を取り付ける



① ウォシュレット本体底面にロータンクパッキンを取り付ける

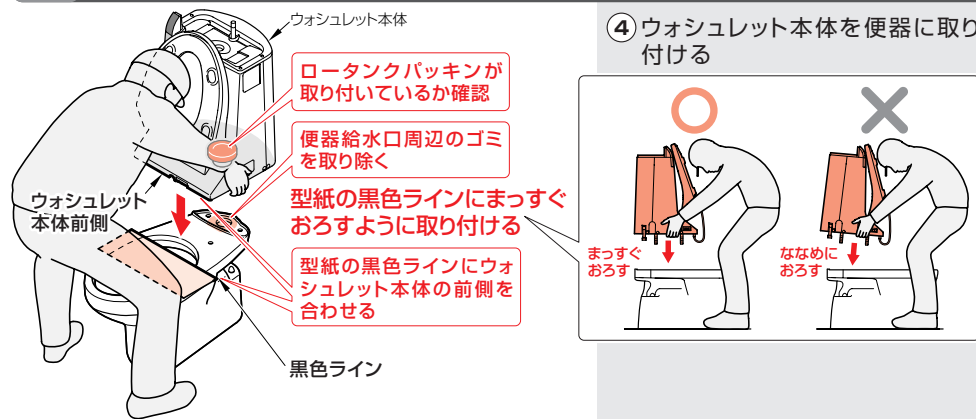
注意

ロータンクパッキンは図のように正しく取り付けてください。正しく取り付けないと漏水の原因になります。

② ウォシュレット本体底面にプラグ(4本)を取り付ける

③ 型紙を置く

3 ウォシュレット本体を取り付ける(つづき)

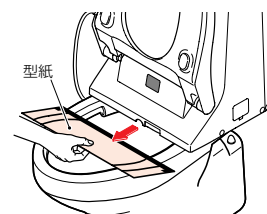
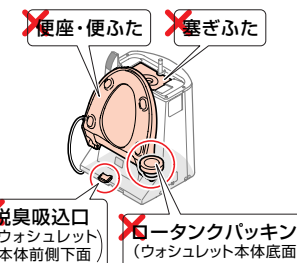


④ ウォシュレット本体を便器に取り付ける

注意

パッキン及び給水口周辺のゴミは必ず取り除いてください。また、便器にウォシュレット本体を取り付けるときは、必ずまっすぐおろしてください。ゴミを取り除かなかつたり、ウォシュレット本体をななめにおろすとパッキンがめくられて漏水する原因になります。

ウォシュレット本体を持ち上げるときは、右図の場所は持たないでください。右図の場所を持つと、便座・便ふたがはずれたり、製品が破損する原因になります。

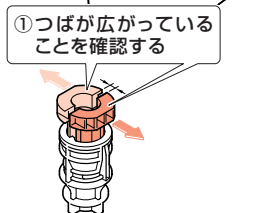


注意

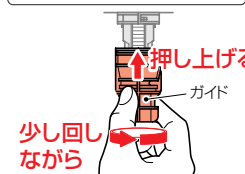
型紙をはずすときは、汚水防止パッキンがめくれないように注意してください。

⑤ 型紙をはずす

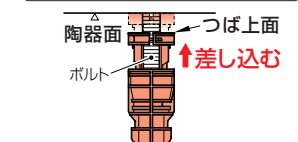
汚水防止パッキンがめくれている



③ ガイドを少し回しながら押し上げる



② つば上面が陶器面に当たるまでボルトに差し込む



④ ワンタッチナットを指先でしっかり締め付ける



⑥ ワンタッチナットでウォシュレット本体を固定する

※後側2カ所を先に固定してください。その後、便座の位置に合わせて前側2カ所を固定してください。

注意

ワンタッチナットを締め付けるときは必ず手で行ってください。工具を使用すると破損の原因になります。

確認!

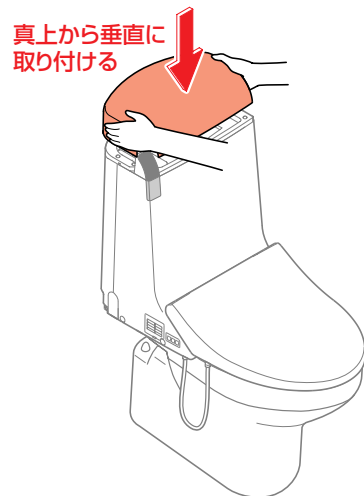
※ウォシュレット本体のガタつきがないことを確認してください。

取りはずすときは...

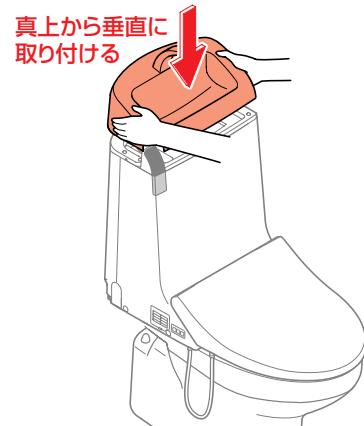
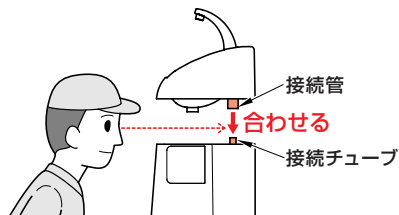
本体を取りはずすときは、手で取りはずしてください。工具を使用しないでください。

4 ケースふたを取り付ける

手洗いなしの場合



手洗い付の場合



ケースふたを本体に合わせるようにして真上から取り付ける

- ① 手洗い管の接続チューブに接続管を差し込んで、ケースふたを取り付ける

⚠ 注意

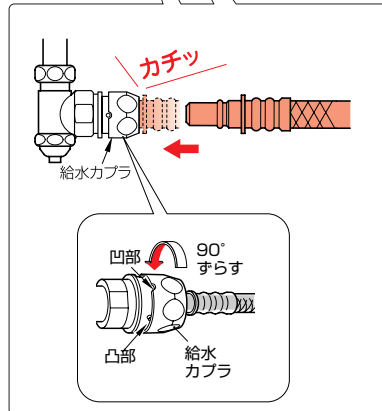
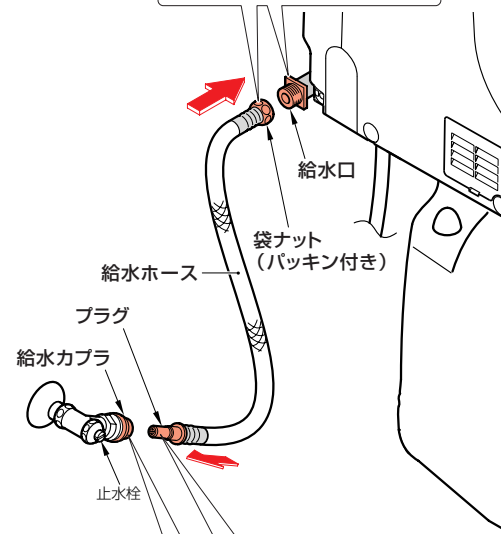
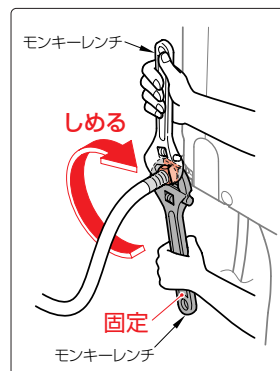
ケースふたを正しく取り付けてください。手洗い付の場合は、ケースふたが正しくセットされていないと、水を流したとき水が噴き出る原因となります。

- ② 正しく取り付いているか確認する

ケースふたが浮いたり、ぐらついたりしていませんか？

この場合は、もう一度取り付け直してください。

5 給水ホースを接続する



- ① ウォシュレット本体の給水口を横向きにして給水ホースの袋ナットを締め付ける

⚠ 注意

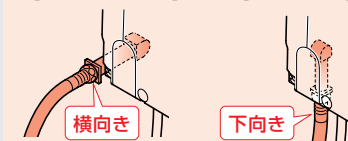
必ず給水口をモンキーレンチで固定して給水ホースを接続してください。無理な力を給水口に加えると給水口が破損して水漏れする原因となります。

POINT!

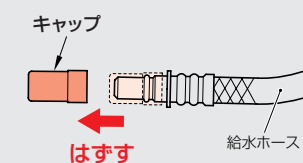
ウォシュレット本体の給水口は下向きと横向きに回転します。給水ホースを取り付けるときは横向きにして、取り付け後は下向きにしてください。

【取り付けるとき】

【取り付け後】



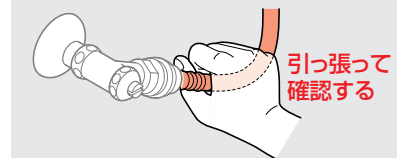
- ② 給水ホースの先端のキャップをはずす



- ③ 給水ホースのプラグ側を止水栓の給水カブラに差し込み、給水カブラの凹部と凸部を90°ずらした位置にする

⚠ 注意

給水カブラに「カチッ」と音がするまで差し込んでください。音がしないときは差し込み不足です。水漏れの原因となります。差し込んだ後、ホースを引っ張って正しく差し込まれているか確認してください。



取り付けかた

給水ホースの長さが足りないとき、長すぎるときは・・・

止水栓の位置が異なる場合は製品と同梱している給水ホースでは長さが合わないことがあります。その場合は、下記の中から適切な長さのホースを選んでご購入ください。

(同梱の給水ホースの長さは約400mmです。)

お求めはTOTOパーツセンター TEL: ☎0120-8282-55、FAX: ☎0120-8272-99

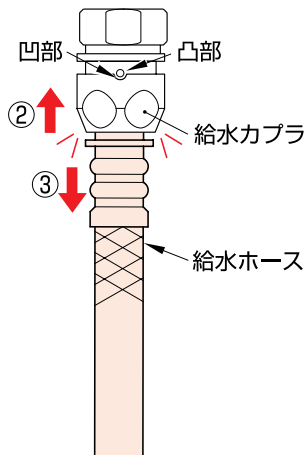
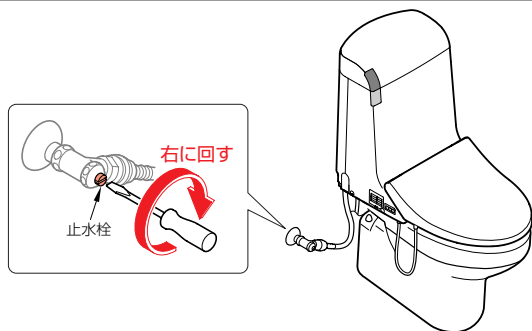
へご連絡ください。

給水ホース長さ違い一覧表

ホース長さ (mm)	品番	ホース長さ (mm)	品番
200	D24008-1ZS	800	D24008-4ZS
300	D24008-2ZS	1000	D24008-5ZS
600	D24008-3ZS	1200	D24008-6ZS

給水ホースの取りはずしかた

施工のやり直しなどで給水ホースを取りはずすときは次の手順で行ってください。



① 止水栓を閉める
止水栓を閉めた後、給水ホース内の圧力を抜くため、ロータンクの水を流してください。

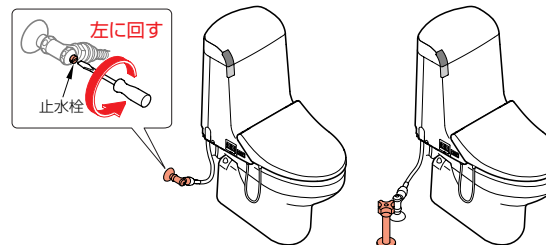
② 給水カブラの凹部と凸部を合わせ押し上げる

③ 給水カブラを押し上げたまま給水ホースを引き抜く

6 ロータンクの水量調節をする

【止水栓の場合】

【水抜栓の場合】



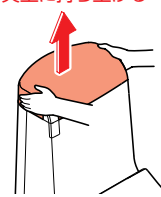
① 止水栓を開ける
(水抜栓の場合は閉める)

確認!

●配管及びウォシュレット本体から水漏れしていないか確認してください。

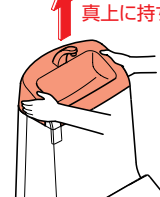
【手洗いなしの場合】

真上に持ち上げる

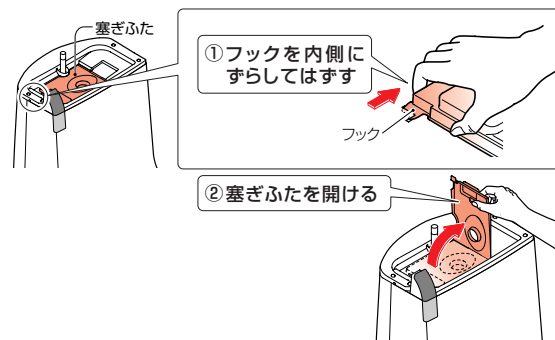


【手洗い付の場合】

真上に持ち上げる



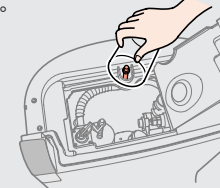
② ケースふたをはずす



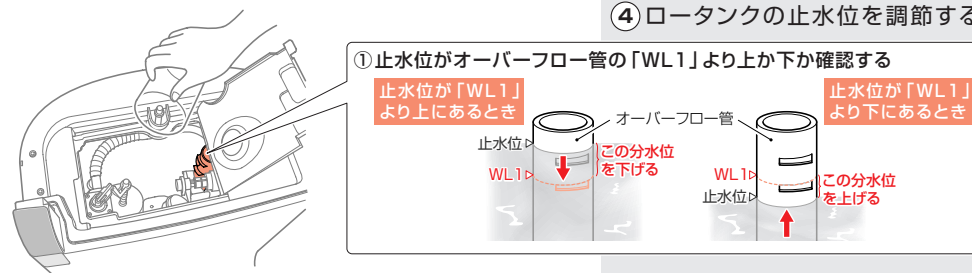
③ 塞ぎふたを開ける

△注意【手洗い付の場合】

手洗い水がこぼれないように接続チューブにコップなどをかぶせてください。水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。



④ ロータンクの止水位を調節する



① 止水位がオーバーフロー管の「WL1」より上か下か確認する

止水位が「WL1」より上にあるとき

この分水位を下げる

WL1

止水位

止水位が「WL1」より下にあるとき

この分水位を上げる

WL1

止水位

取り付けかた

手で押さえる

② 止水水位位置が「WL1」に合っていない場合、止水水位を調整する
 ● 浮き玉レバーの根元を手で押さえて浮き玉を回して止水水位を調整してください。

上から見た図

右回し	水位が下がります。
左回し	水位が上がります。

(1回転で約3mm上下します。)

● 止水水位は、一度便器の水を流してから、自然に止まる位置で確認してください。

▲ 注意
止水水位は正しく合わせてください。
 正しく合っていないと、汚物がきれいに流れなかったり、便器の水が止まらなかったり、便器が詰まったりすることがあります。

④ の手順で水の流れが弱い場合 (水量を切替ます6/5L→8/6L)

① 既設の玉鎖用レバーを取りはずす

- 1 止水栓を開けてロータンク内の水を抜く
- 2 後方を上げながら、ケースふたを取りはずす
- 3 中ふた(黒)と防露ふた(半透明)を取りはずす
- 4 既設の玉鎖用レバーを取りはずす

② 排水弁を取りはずす
排水弁を取りはずす

③ 下側の固定用止め輪を玉鎖から外して、浮き玉を下にずらし、外した固定用止め輪を浮き玉の上につける。

一般地排水弁 大6L・小5L⇒大8L・小6Lへの切替要領

● 固定用止め輪 ● 位置決め止め輪

大6L/小5L設定 → **大8L/小6L設定**

浮き玉の下側の固定用止め輪をはずす。(2箇所)

浮き玉が固定用止め輪まで落下します。浮き玉の上側に固定用止め輪をセットする。(2箇所)

④ 排水弁を取り付ける
前記の②と逆の手順で排水弁を取り付ける

小用玉鎖 排水弁(小) 「カチッ」と音がするまで押し込む
 大用玉鎖 排水弁(大) カチッ

⑤ レバーを取り付ける
玉鎖用レバーを取り付け、ピンをセットする

① 便器洗浄レバーを回して水を流す

押して開ける
 便器洗浄レバー
 奥側に回す

② 水が止まったら、止水水位「WL1」に合っているか確認する

⑤ 正しく調節できたか確認する

▲ 注意
 手洗い付の場合は、必ず接続チューブにコップをかぶせてください。水が噴き出て壁や床をぬらす原因になります。

① 塞ぎふたを閉める

② フックを入れる

⑥ 塞ぎふたを閉める

⑦ ケースふたを取り付ける

【手洗いなしの場合】 真上から垂直に取り付ける

【手洗い付の場合】 接続管 接続チューブ 合わせる

真上から垂直に取り付ける

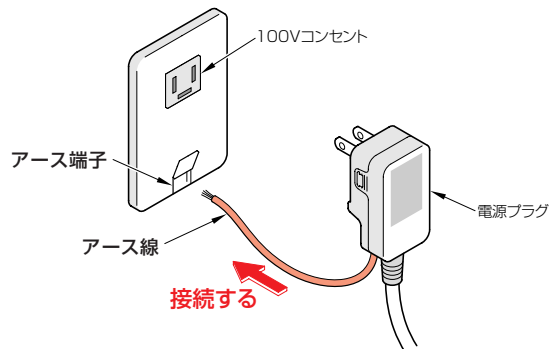
2~3度便器洗浄して、漏水などの異常がないことを確認してください。

水圧が高く、給水音が激しい場合

水圧が高いと、ロータンクへの給水音が激しくなり、給水量が増えます。他の水栓の吐水量に支障のない程度に元栓を絞ってください。

取り付けかた

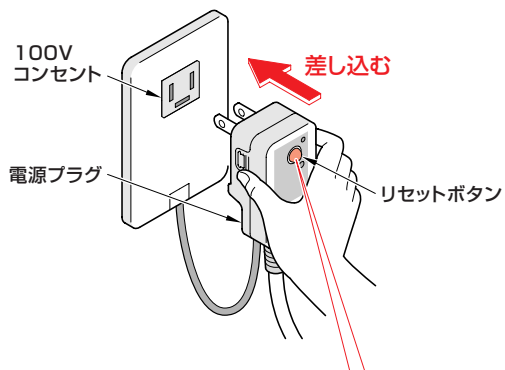
7 アース線を接続する



アース線をコンセントのアース端子に接続する

※アース端子がない場合は電気工事店にご相談ください。

8 電源プラグを接続する



① 電源プラグを100V (50/60Hz) のコンセントに差し込む

ノズルがいったん出て戻る初期動作を行うか確認

ヒーター付便器の場合 (凍結のおそれがある場合のみ)

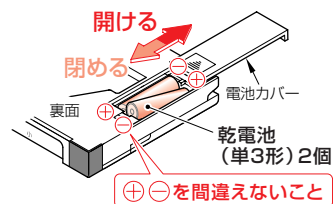
便器ヒーター用電源プラグをコンセントに差し込み、ウォシュレット用電源プラグを便器ヒーター用電源プラグに差し込んでください。

② 電源プラグの「入」・「切」ボタンを押して、正常に作動することを確認する

「切 (テスト)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが点灯する
「入 (リセット)」ボタンを押す → 「切表示」ランプが消灯する
以上のように作動すれば正常です。

「切表示」ランプが点灯している状態では通電されません。
※テスト後は必ず「入 (リセット)」ボタンを押してください。

9 リモコンを取り付ける



① リモコンの電池カバーを開け、乾電池を入れる

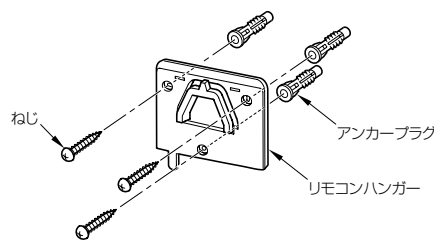
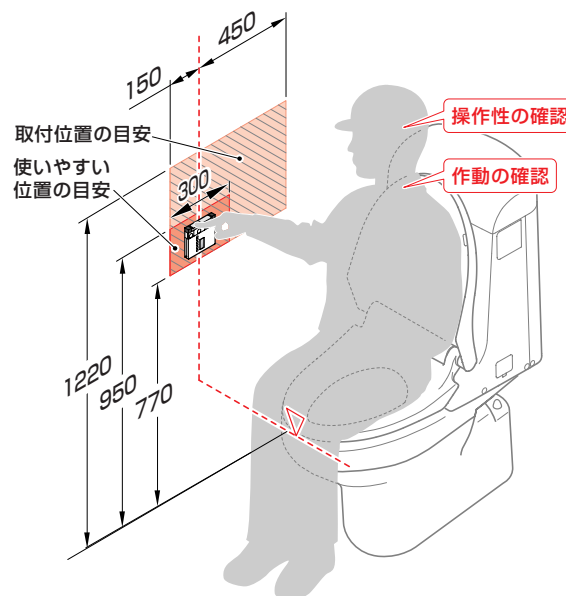
② 次の確認を行ってリモコン取付位置を決める

操作性の確認

便座に座った状態で操作を行い、取付位置を決めてください。

作動の確認

- 「ノズルそうじ入/切」スイッチを押してノズルが伸縮することを確認してください。
- 万一、リモコンで作動しない場合は、図の取付位置の目安範囲でリモコンの位置を変えるか、反対側の壁で確認してみてください。

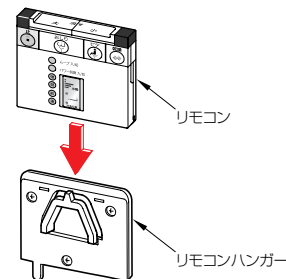


③ リモコンハンガーをねじで壁に取り付ける

※ねじは必ず同梱のねじを使用してください。
※ハンガーは必ず3カ所固定してください。

- 壁にφ3の下穴をあけると取り付けやすくなります。
- 石膏ボードやタイル壁の場合は、φ6深さ33mmの下穴をあけ、付属のアンカープラグを使って取り付けてください。

④ リモコンを取り付ける



試運転

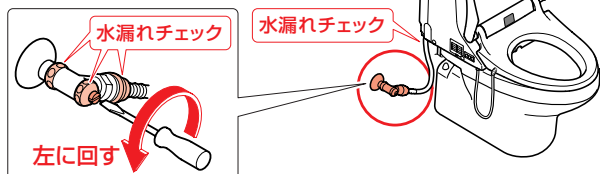
取付作業が完了したら次の手順で試運転を行ってください。

試運転前に必ず確認してください!

- 試運転の前及び試運転完了時は必ず本体操作部「運転入/切」スイッチが「入」になっていることを確認してください。(「入」のときは、本体表示部の「運転ランプ」が点灯します。)
- 「運転入/切」スイッチが「切」のときは、電源プラグをコンセントに差し込んででもウォシュレットは作動しません。
- ※お客様に引き渡すまでに時間があっても「運転入/切」スイッチを切らないでください。

1. 水漏れの点検

- 給水の前に配管接続部のゆるみがないか再確認する
 - 止水栓を開いて(または水抜栓を閉めて)配管接続部から水漏れがないことを確認する
 - ウォシュレット本体の給水接続部から水漏れがないことを確認する
- ※万一、水漏れがあれば再施工を行い、水漏れを止めてください。



2. 機能の確認

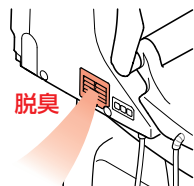
1 着座センサーを白紙でおおう

- 白紙でおおうと着座センサーが検知します。(便座を閉めないで着座センサーをはたらきません。)



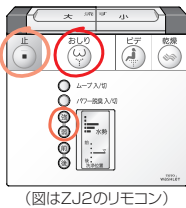
2 脱臭機能を確認する

- 本体左側面の脱臭口より風が出ていますか?



4 洗浄機能を確認する

- 「おしり」スイッチを押すとノズルから適温の温水が出ますか?
(温水タンクが空のときは、吐水するまで約1分、温水になるまで約10分かかります。)
- 「水勢調節」スイッチを押すと水勢が変化しますか。
- 「止」スイッチを押すと止まりますか。



3 パワー脱臭機能を確認する

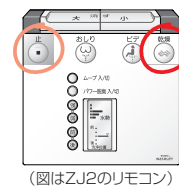
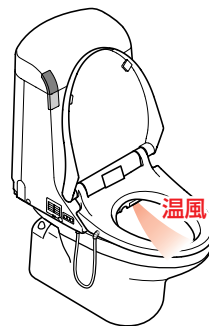
- 「パワー脱臭」スイッチを押すと脱臭音が大きくなりますか?
- もう一度、「パワー脱臭」スイッチを押すと通常の音に戻りますか?



2. 機能の確認(つづき)

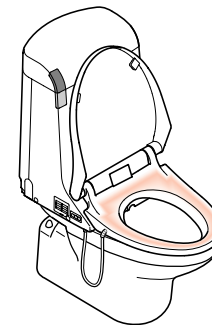
5 乾燥機能を確認する(ZJ2のみ)

- 「乾燥」スイッチを押すと温風がノズルの右側から出ますか?
- 「止」スイッチを押すと止まりますか?



6 暖房便座機能を確認する

- 便座があたたまっていますか?
便座があたまるまで約15分かかります。



7 着座センサーを30秒以上検知させて、白紙をはす



8 オートパワー脱臭機能を確認する

- 脱臭音が大きくなりますか?
- 約1分後に自動で止まりますか?

9 オート洗浄機能を確認する

- 約5秒後に自動で便器洗浄しますか?



10 リモコン便器洗浄を確認する

※オート洗浄後、リモコン便器洗浄を確認するときは10秒以上間隔を開けてください。

- [大] [すす] [小] を押すと便器の水が流れますか?

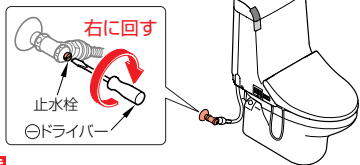


2~3度便器洗浄して、ウォシュレット本体底面から漏水などの異常がないことを確認してください。

給水フィルターの掃除

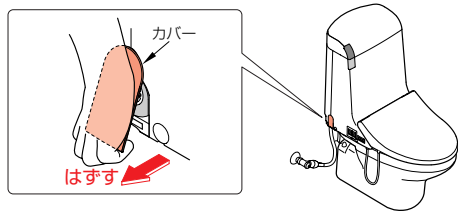
給水フィルターが詰まると、適正な性能が得られません。試運転後に次の手順でフィルターの掃除をしてください。

1 止水栓を開めて給水を止める



△注意
禁止 止水栓を開けたままで、給水フィルターをはずさない
水が噴き出します。

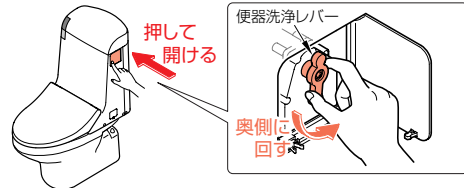
3 カバーの下を図のように持って、カバーをはずす



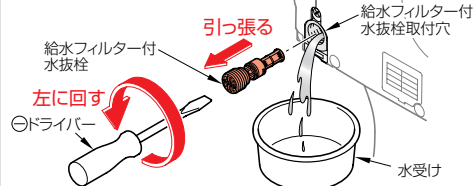
5 フィルターの網目に詰まったゴミを水洗いして取り除く



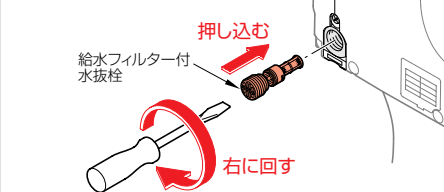
2 本体右側のふたを押して開け、便器洗浄レバーを奥側に回してロータンクの水を抜く
(給水管内の圧抜きです。)



4 給水フィルター付水抜栓をドライバーでゆるめた後、引っ張ってははずす

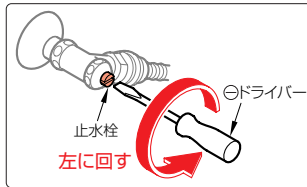


6 給水フィルター付水抜栓を押し込み、ドライバーで確実に締める

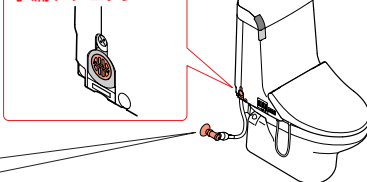


△注意
禁止 給水フィルター付水抜栓は確実に締める
確実に締めないと水漏れの原因になります。

7 止水栓を開ける

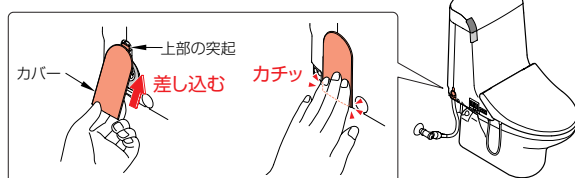


水漏れチェック



給水フィルター付水抜栓部から水漏れしていないか確認してください。

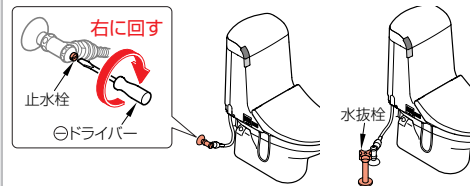
8 カバー上部の突起を本体に差し込み、「カチッ」と音がするまで、カバーを押し込む



凍結のおそれがあるときの処置

次の手順で水抜きを行い、電源プラグを抜いてください。

1 止水栓を開めて(または水抜栓を開けて)給水を止める
【止水栓の場合】 【水抜栓の場合】



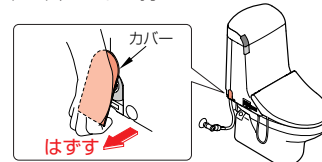
2 本体右側のふたを押して開け、便器洗浄レバーを奥側に止まるまで回したまま押し込んでロックする
(給水管内の圧抜きです。)



3 配管の水を抜く

① リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す
(製品内部の残水を抜きます。)

② カバーの下を図のように持って、カバーをはずす



③ 給水フィルター付水抜栓をドライバーでゆるめた後、引っ張ってははずす



△注意
禁止 止水栓を開けたままで、給水フィルターをはずさない
水が噴き出します。

④ もう一度、リモコンの「ノズルそうじ入/切」スイッチを押す

⑤ 給水フィルター付水抜栓を押し込みドライバーで確実に締める

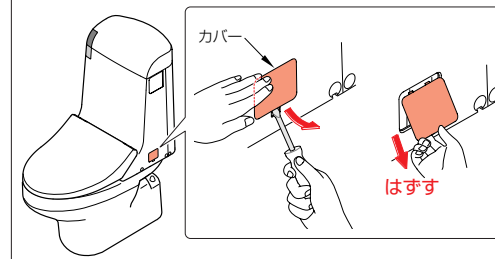


⑥ カバー上部の突起を本体に差し込み、「カチッ」と音がするまで、カバーを押し込む

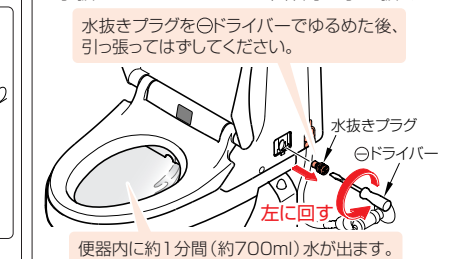


4 ウォシュレット内の水を抜く

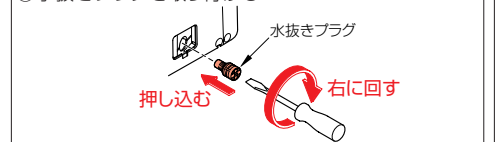
① カバーをはずす



② 水抜きプラグをはずして本体内の水を抜く



③ 水抜きプラグを取り付ける



④ カバーを取り付ける突起を本体に差し込み、「カチッ」と音がするまで押し込んでください。



5 電源プラグを抜く

6 便器内の溜水を処置する